

第170号

平成28年 1月28日

一般社団法人 大阪市学校歯科医会報

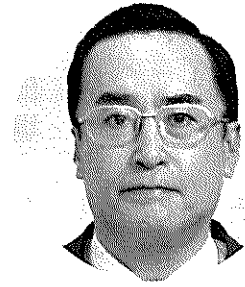


In India (インド) 新世紀美術協会会員・日本美術家連盟会員 西川 肇

目 次

会長挨拶	3
一般社団法人日本学校歯科医会 第87回 定時総会	4
一般社団法人日本学校歯科医会 第88回 臨時総会	5
平成27年度 第2回 支部長会	6
第39回 近畿北陸地区学校歯科医会連絡協議会	7
平成27年度 大阪市学校歯科医会 会員研修会	9
歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語 コンクール	11
第79回 全国学校歯科保健研究大会	13
平成27年度 全国学校保健・安全研究大会 第65回 全国学校歯科医協議会	16
平成27年度 学校歯科保健連絡協議会 (旧名：合同事業打合せ会)	19
平成27年度 大阪二学歯連絡協議会	20
平成27年度 大阪市学校歯科医会 指導者講習会	21
子どもの歯を守る懇談会 報告書	22
平成26年度 年間活動報告書の記載内容	25
学校歯科医生涯研修制度 専門研修を受講して【座談会】	26
会員報告書	31
平成27年度 慶びに輝く先生方 / お知らせ	32
会務報告	33
学校歯科保健教材器具貸出 申込書	
ホームページ更新情報 / 編集後記	

会長挨拶



一般社団法人大阪市学校歯科医会 会長 岡本 卓士

厳しい寒さが毎日続くこの頃ですが、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にお過ごしのことと拝察いたします。日頃は学校歯科保健の活動や大阪市学校歯科医会の事業にご協力賜わり、厚く御礼申し上げます。

大阪市学校歯科医会の会長に就任して、あと2カ月で4年目を終ろうとしています。去年の7月に一般社団法人になって2期目の執行部を発足させましたが、理事の先生方や会員の皆様のお陰を持ちまして、大阪市学校歯科医会の会務が順調に運営されております事を報告すると共に深く感謝申し上げます。

去年の前半は大阪市を5つの特別区に再編する大阪都構想の賛否を問う住民投票が実施されました。開票結果によっては大阪市学校歯科医会が2年後に解散になるという存亡の危機に立たされておりましたので、新しい事業を企画して発足させる事もできず、例年通りの事業を継続するにとどまりました。

今年は市学歯の事業の充実を計って行きたいと思っておりますが、去年の11月22日に行なわれました大阪府知事と大阪市長のダブル選挙では大阪維新の会の候補者がダブルスコアの差を付けて圧勝する事態となってしまいました。この結果を受けて、決着がついているはずの大阪都構想を、大阪維新の会がまたぶり返して来ております。その経緯によっては、何年後かに再び存亡の危機に立ってしまうのではないかと危惧しております。

また、大阪市学校歯科医会の所属団体である日本学校歯科医会の清水会長が、日本歯科医師会の会長と同じように任期途中で辞任するという事態になってしまいました。これは清水会長が愛媛県歯科医師会の会長時に主催した4年前の第75回全国学校歯科保健研究大会で生じた688万円の余剰金を収支同額に改ざんして、使途不明金が生じた事が原因でした。それを学校歯科医会の管轄省庁である文部科学省が問題視して、学校歯科保健研究大会などの日学歯が主催する行事から撤退するとの通告があった事に対して、責任を問われての辞任でした。現在は文部科学省との関係も改善され、齊藤副会長が会長職に就任して日学歯の業務が執行されています。そして、今年2月には、予備選挙が行なわれて新会長が決定する予定です。大阪市学校歯科医会はそれらの経緯を冷静に見守って行きたいと思っております。

平成28年度から大阪市立の特別支援学校が大阪府に移管されて、大阪府教育委員会の管轄に入ります。また、各区で小学校の統廃合や小中一貫校の新設が進められています。これらにより、平成28年度は12名の先生方が市学歯からの退会を余儀なくされますが、このように益々統廃合が進んで会員数の減少が加速されると思われまます。大阪市学校歯科医会は色々な問題に直面すると思われまます、臨機応変に対応して行きますので、会員の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

■ 一般社団法人日本学校歯科医会 第87回 定時総会 ■

日 時 平成27年6月30日（火） 午後1時～5時
場 所 日本歯科医師会館 大会議室

1. 氏 名 点 呼 （出席114名 欠席10名）
 2. 開 会 の 辞
 3. 議事録署名人指名

副 会 長	齋 藤 愛 夫
宮 城 県	山 形 光 孝
福 岡 県	平 瀬 久 義
 4. 黙 禱
 5. 挨 拶
 6. 来 賓 挨 拶

会 長	清 水 惠 太
日歯会長	大久保 満 男
 7. 一般会務報告等
 - 1) 特別委員会報告
 - ①議事運営特別委員会

委 員 長	寺 尾 隆 治
委 員 長	小 嶋 憲 夫
 - ②予算決算特別委員会

委 員 長	稲 垣 昭 夫
-------	---------
 - ③選挙管理委員会（役員選挙報告）

専務理事	川 本 強 美
------	---------
 - 2) 平成26年度事業報告

常務理事	土 屋 松 美
------	---------
 - 3) 会 務 現 状 報 告

常務理事	長 沼 善 美
------	---------
 - 4) 会 計 現 状 報 告

常務理事	長 沼 善 美
------	---------
 - 5) 各種委員会現状報告

専務理事	川 本 強 美
------	---------
 - 6) 監 査 報 告
 - 7) そ の 他
 8. 議 事
 - 第1号議案 平成26年度貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認並びに公益目的支出計画実施報告
 - 第2号議案 役員選任の件
 - 第3号議案 総会議長並びに副議長の選出の件
 - 第4号議案 選挙管理委員会委員の選任の件
 - 第5号議案 議運運営特別委員会委員の選出の件
 - 第6号議案 予算決算特別委員会委員の選出の件
 9. そ の 他
 10. 閉 会 の 辞

副 会 長	由 井 孝
-------	-------
- 【大阪市学校歯科医会からの質問】
- Q.（質問者：代表会員 西本 達哉）
〔マスコミの学校歯科保健の報道への対応について〕
今年に入って、毎日放送やサンケイ新聞などのマスコミから取材を受けたが、報道内容に対し異議が生じた場合、どのように対応すればよいのか。また、取材を受ける児童生徒や歯科衛生士のプライバシーの保護などの問題も生じた。日学歯のマスコミ取材への対応はどうしているのか。
- A.（回答者：専務理事 川本 強）
日学歯では担当役員が資料を調べ、学識者に相談しながら、公式な見解をもって答えている。相談いただければ、協力して対応させていただく。

■ 一般社団法人日本学校歯科医会 第88回 臨時総会 ■

日 時 平成27年9月16日（水） 午後1時30分～4時30分
場 所 アルカディア市ヶ谷 5階 穂高

1. 氏 名 点 呼 （出席115名 欠席9名）
2. 開 会 の 辞 副 会 長 齋 藤 愛 夫
3. 仮 議 長 の 選 出
4. 議 事 録 署 名 人 指 名 栃 木 県 瓦 井 昭 二
香 川 県 木 田 一 秀
5. 新 役 員 紹 介 会 長 清 水 恵 太
6. 挨 拶 会 長 清 水 恵 太
7. 報 告
- 1) 会 務 現 状 報 告 常 務 理 事 杉 原 瑛 治
- 2) 会 計 現 状 報 告 常 務 理 事 長 沼 善 美
8. 議 事
- 第 1 号 議 案 総 会 議 長 ・ 副 議 長 の 選 出 の 件
- 第 2 号 議 案 予 算 決 算 特 別 委 員 会 委 員 の 選 出 の 件
- 第 3 号 議 案 議 事 運 営 特 別 委 員 会 委 員 の 選 出 の 件
- 第 4 号 議 案 選 挙 管 理 委 員 会 委 員 の 選 出 の 件
9. 協 議
- 1) そ の 他
- 〔文部科学省が第79回長野県大会の主催から降りることになった経緯について〕
平成23年10月20日・21日に愛媛県で開催された第75回全国学校歯科保健大会において会計を担当していた愛媛県歯科医師会が688万円の余剰金が生じていたにも関わらず「返還しなくてもよい」という判断に至った理由について、体制の問題や大会運営上の問題が報告された。今後の対策として日学歯の体制の改善、今後余剰金が生じた場合の返還に関する条項を追加して、それに基づく運営を実行するなどの大会運営上の改善案が協議された。
10. 閉 会 の 辞 副 会 長 由 井 孝

— 平成27年度 第2回 支部長会 —

日 時 平成27年10月17日（土） 午後1時30分～3時

場 所 大阪府歯科医師会館 第6会議室

開会のことば

会長挨拶

会務報告（6月21日～10月16日）

報告事項

副会長 西川 肇

会長 岡本 卓士

専務理事 西本 達哉

1. 平成27年度通常総会

専務理事 西本 達哉

2. 日本学校歯科医会 第87回定時総会

副会長 井手 成信

3. 日本学校歯科医会 第88回臨時総会

副会長 西川 肇

4. 大阪市学校保健会 常任理事・理事会 定時総会

副会長 長崎 三男

5. 第39回近畿北陸地区学校歯科医(学校歯科部)連絡協議会

副会長 西川 肇

6. 「歯・口の健康教室」反省会および「低学年歯みがき指導」打合せ会

専務理事 西本 達哉

7. 第37回近畿学校保健連絡協議会

常務理事 林 昭典

8. 大阪府学校歯科連合会

副会長 井手 成信

9. 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール審査会並びに展示

常務理事 美島 達平

10. 子どもの歯を守る懇談会の開催について

常務理事 林 昭典

11. 全日本学校歯科保健優良校表彰校の選考結果について

専務理事 西本 達哉

12. 会員研修会など学術関連の事業について

常務理事 林 昭典

13. 市学歯会報170号の掲載内容について

常務理事 美島 達平

14. 年間活動報告書の検診項目に記載された要望事項について

常務理事 羽生 卓也

15. 中学校の歯・口の健康づくり実施状況の最終結果

会長 岡本 卓士

16. 検診基準の改訂と学校保健安全法の施行規則の一部改訂について

専務理事 西本 達哉

17. 検診トラブルを防ぐための対応について

会長 岡本 卓士

18. 市学歯ホームページの更新情報の伝達について

19. その他 医療券でのパノラマ請求について

質疑応答

閉会のことば

副会長 井手 成信

— 第39回 近畿北陸地区学校歯科医会連絡協議会 —

昨年から近畿北陸地区歯科医師役員連絡協議会と同日に開催されることになった近畿北陸地区学校歯科医会連絡協議会は、北陸新幹線が開通したばかりの富山市で開催されました。市学歯からは西川副会長以下5名の理事が参加し、岡本会長は大阪府学校歯科連合会の副会長として参加しました。他府県の多くの会員との交流を持って情報交換をすることができ、成果を上げる事が出来ました。



日 時 平成27年 8月29日(土) 午後1時30分より

場 所 ANAクラウンプラザホテル富山

日 程

1. 開 会 の 辞

2. 当 番 県 挨 拶

3. 来 賓 挨 拶

4. 来 賓 紹 介

富山県歯科医師会	会 長	山 崎 安 仁
日本学校歯科医会	会 長	清 水 惠 太
富山県教育委員会	教 育 長	渋 谷 克 人
日本学校歯科医会	会 長	清 水 惠 太
日本学校歯科医会	常務理事	齋 藤 秀 子
富山県教育委員会	教 育 長	渋 谷 克 人
富山県教育委員会	保健体育課	林 嘉 子

5. 出 席 者 紹 介

(当会からの参加者)

会 長	岡 本 卓 士	(大阪府学校歯科連合会副会長)
副 会 長	西 川 肇	副 会 長 井 手 成 信
専務理事	西 本 達 哉	常務理事 林 昭 典
常務理事	川 上 力	

6. 座 長 選 出

座 長	富山県歯科医師会	副 会 長 城 川 和 夫
副 座 長	滋賀県歯科医師会	常務理事 高 田 克 重

7. 協 議

(1) 学校歯科医として会員への食育に対する取り組みをどのように向上させていくべきか 大阪府学校歯科医会
〔大阪市学校歯科医会からの協議題〕

(2) 検診結果にクレームをつける保護者への対策 大阪市学校歯科医会

【要 旨】

大阪市では今年度の定期健康診断において、学校歯科医が診査した結果に対して保護者がクレームをつける事例が発生した。その対応は学校と市教委が担当して解決策を図ったが、クレームの原因になった歯科医院(学校歯科医以外)への対応など学校歯科医が取るべき対策を検討して頂きたい。

【他団体の意見】

他府県では、滋賀県が類似したクレームを報告した。対策としては、歯科医師会と学校歯科医会が連携して、統一した受診票を発行したり、基礎研修会を一般の県歯会員にも受

講してもらったりしているようだ。日学歯は「今後の学校歯科検診はスクリーニングの色が濃く出てくるので、学校での健康診断は確定診断ではないことを保護者に周知すべきである」との見解だった。

8. 情報交換

- | | |
|---|-----------|
| (1) 学校歯科医の配置について | 滋賀県歯科医師会 |
| (2) 日本学校歯科医会からの情報伝達について | 滋賀県歯科医師会 |
| (3) 「滋賀県歯および口腔の健康づくり推進に関する条例」について | 滋賀県歯科医師会 |
| (4) 学校での安全管理、危機管理について | 京都府歯科医師会 |
| (5) スポーツデンティストの活動について | 京都府歯科医師会 |
| (6) 学校歯科医の選定基準について | 京都府歯科医師会 |
| (7) こども園に対する「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」の案内について | 和歌山県歯科医師会 |
| (8) 集団的フッ化物洗口の費用負担について | 和歌山県歯科医師会 |
| (9) 校医手当の見直しについて | 和歌山県歯科医師会 |
| (10) 基礎研修会・専門研修について | 大阪府学校歯科医会 |
| (11) 学校歯科保健教材の活用について | 大阪市学校歯科医会 |
| (12) 学校管理下における外傷等の受傷状況(割合)と外傷予防について
各学校の取り組みについて | 奈良県歯科医師会 |
| (13) 学校歯科検診時におけるプライバシーの保護について | 兵庫県歯科医師会 |
| (14) 日本学校歯科医会基礎研修会の内容について | 富山県歯科医師会 |

9. その他

10. 次期当番県挨拶

滋賀県歯科医師会 常務理事 高田克重

11. 閉会の辞

〔大阪市学校歯科医会からの情報交換〕

『学校歯科保健教材の貸出しとその活用について』

【要旨】

児童生徒対象に保健指導をする際には、興味を持たせて受けられるように、位相差顕微鏡や、かみかみセンサーなどの学校歯科保健教材を使用するのが有効と思われる。各団体の教材器具の貸出し方法、使用実績や有用な使用方法があればお聞きしたい。

【要旨に対する報告】

京都府歯科医師会からは、紙芝居、マウスガード模型、口臭度計、位相差顕微鏡などを貸し出しているとの情報があった。大阪府学校歯科医会からは府立高等学校歯科医会に歯の外傷とその予防について等の「学校保健支援ツール」の媒体の作成依頼があって、学術委員会で作成したのを府教委へ提出したとの報告があった。

【懇親会】

近畿北陸地区の歯科医師会役員連絡協議会との合同懇親会は、協議会終了後の午後4時10分から開催されました。太田謙司会長をはじめとする大阪府歯科医師会の理事の先生方や他府県の役員の先生方と交流を持つことができました。途中から日本歯科医師会高木幹正会長も臨席され挨拶をされました。

懇親会でも市学歯が提出した協議題の「検診トラブルへの対応」に対しては貴重な感想や意見を多数頂きました。それらを参考に今後も対策を取って行こうと思います。

◆ 平成27年度 大阪市学校歯科医会 会員研修会 ◆

日時 平成27年12月5日(土) 午後3時～午後5時15分
場所 大阪歯科大学 附属病院 西館 5階 臨床講義室
講師 元・NHK「ためしてガッテン」演出担当デスク 北折一氏
演題 ガッテン流! 歯科健康情報の伝え方 ～演出家的発想のススメ～
講演内容



【1】そろそろやめませんか?正しいことをきちんと伝える健康情報

①健康の話はありがちなものが多くて、ひとの気持ちを遠ざける。

ついやってしまいがちな説明は、説教に聞こえる。

②「永遠の別れ」 「～とは」から始まってしまう話は基本的に面白くない。

③説明をするなら、必ず「聞きたいモード」を作ることが最初の鉄則。

【2】発表!これが番組構成の「黄金レシピ」(でした・・・)

①「エルとワルの違い」は「伝える」という言葉と「伝わる」という言葉は似た言葉だけど、まったく違う意味である。伝わらなければ情報という言葉にすらならない。本当に良い情報ならば、確実に届くための工夫をするのがプロの仕事。最初から説明モードの話ではなくて、この先を聞き続けたいという気持ちにさせるのが大事。

②ためしてガッテン番組製作で一番大事なのは編集作業で、撮影してきたものを全部付箋紙にメモして並べて、何度も並べ直す。同じ情報や映像でも提示の仕方を変えるだけで、人は見たくなくなったり、すごく見たくなくなったりするものだ。

③大事なのは4つの「感」である。「共感」「なんだろー感」「納得感」「お得感」の4つで構成をする。

「そうそうそうなんだよな」と思い当たる節の共感が、行動変容への第一ステップ。

2番目は「なんだろー感」は「えーそれなに」「どういうこと」という軽い疑問を持たせて、「共感」とともに何度も繰り返す事によって、3番目の「納得感」を増幅させる。

④最近が一番大事なのは「お得感」なので、それを随所にちらつかせておく。

⑤「ネタより切り口」で、何を伝えるかよりも「どう伝えるのか」の方が大事。

⑥究極の目標は「ついつい」の4文字。「ついつい」そのやり方でやってみたくなる体になってもらうことが大事。生活習慣病は「ついつい」が続いてできた病気である。怖い映像をガンガンぶつけて脅す方法は採用しない。日常生活の中でやっている「ついつい」は強いので怖い映像程度では太刀打ちできない。

⑦病気ネタの鉄則は「可視化・擬人化・自分事化」すること。

【3】「ナゾの歯抜け事件」～犯人は誰だ!?

①歯周病のテーマは謎の歯抜け事件として、ミステリー調のストーリーにした。事件の容疑者としてつぶ太(歯垢の細菌)、へび野へびゾウ(スピロヘータ)、ミスターハコツの3者を登場させて、歯周病を擬人化して面白く解説した。

【4】プレゼン・・・お願いですから・・・!

①やめて、「魔性」の攻撃。これは「ましようの攻撃」で「バランス良く食べましょう」「良く手を洗いましょう」の言い方は相手が嫌な気持ちになるのは、上から下へ向いて押さえつけてものを言っている「なさい」と同じ言葉。連発すると学校で叱られている気分になる。

②クイズは受け身で聞き流すつもりだった人を受動態から能動態へ変える力を持っている。

知識を問うものや難しすぎるのも駄目で、つい考えたくなる、つい答えたくなるのがクイズの一番大事なところ。

【5】ふつーの保健指導じゃ、うまくいかない理由

①健康な生活に頑張りましょうと言っても、一般の人や子どもはそうそう頑張れるはず

がない。

- ②「正しいやり方」の説明は押さえ付けがちになるので「裏技・秘策・取っておきのコツ」のように聞こえるやり方ではめる。すごくいいワザを知ってしまったと聞こえるようにする。

【6】プロの皆さま、人々をどう幸せに導きますか？

- ①ガッテンでは、僕らが掘った穴に思いっきりはまってもらって「ガッテン ガッテン」してもらおうのが「落とし穴」って言葉。良い穴を掘るだけではダメで、穴までの道のりをどう組み立てるかが、すべてを決めてしまう。そのための作戦を考える。
- ②「かんけいだいめいし」作戦。なるほど感とかやらされ感とか相手の気持ちを「感系」で考える。
今日の講演も〇〇感を基に組み立てている。最初は「今日は笑って聞いても良い日なんだ感」を出して、クイズを出しながら「ついて行かなきゃ感」を植え付け、「メモとらなきゃ感」が相まって「自分は学んでいる感」に高まっていく。「だいめい」は題名・面白い標語・サブタイトルをなるべくつけるようにする。
- ③伝わる伝え方の裏技を身につけるための王道は「戦術よりも戦略、戦略より願い」で「それを知ってもらった人にどうなってもらいたいのか」という願い。
- ④とっておきのコツ「させられちゃう」から「自分からする」に変身させるためのコツは「タイを釣る」こと。相手の希望を釣り上げると、「指導」ではなくて「支援」となる。この子の希望を叶えるための応援。
- ⑤幸せの落とし穴への作戦を考えるのだから「いい仲間と笑いながら」楽しみながら、「死ぬほど考える」。
- ⑥一番大事なことは「変える」ってことです。今までより良くしようと思ったら、何かを変えるしかない。「今まで通り」は「今まで止まり」。すべて、何か変えるところから始まる。

【7】練る子は育つ・・・よどこまでも。

- ①「聞きたいモード」のコツは、〇外感 意外感
- ②「〇〇字」のコツは、あーあと思わせること。 伏せ字
- ③「クイズ」のコツは、「意外感」と「キキ管理」 ドキドキ管理

【最後に】皆さまの、よりよい「お仕事」のために・・・

- ①「誰が私に喜びをくれるのか」という事を自問自答する。ひとは喜びのためには頑張れる。嬉しいことがあれば、もうちょっと頑張れる。皆さんは、幸せな人を創出するという大変幸せな仕事をされている。その喜びのためにどうしたらよいか、頑張って楽しんでほしい。
- ②「Q. 健康の情報を伝える仕事は、その情報を伝えることによって、受け手に幸せになってもらう仕事である…？」 答えはNOである。「受け手に幸せになってもらうことによって『自分も』幸せになる仕事である」が正解。

会員研修会の受講者の感想文は多数いただきましたが、抜粋で紹介します。

- ①学校での講話や診療所の会話に役立てたい。 (東淀川区 辻本研二)
- ②発想がユニークで面白かった。いい話だったと思います。 (西 区 藤野 明)
- ③話の内容がよく分かりました。早口なので情報伝達の多いこと (住之江区 高橋邦夫)
- ④今まで無かったような企画で大変参考になりました。講話などに役立たせていただきます。 (平野区 門奈丈石)
- ⑤「伝え方」色々なためになるお話しを有難うございました。私自身、仕事をする上で変わることがたくさんあると感じました。 (きもと歯科・木元澄枝)
- ⑥正しいことを正しく一生懸命伝えても無駄に終わってしまうことがよく分かりました。「落とし穴」をどう用意するのか。そこまで誘導するのはとても難しいですが、少しずつ工夫してみようと思います。ありがとうございました (四天王寺大学 高橋麻起子)
- ⑦情報の伝え方。さすがは業界のプロ。面白い仕事ですね。説明感を消したみごとな講演でした。帰りに電車のつり広告を見る目も変わっていると思います。面白かったです。有難うございました。スゴイ良かったです。 (東淀川区・小田晃三)

■ 歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語 コンクール ■

平成27年度「歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語コンクール」審査会を下記の日
程で行いました。

日 時：平成27年9月17日（木） 午後2時

場 所：大阪市役所 地下1階 第5 共通会議室

出席者：一般社団法人大阪市学校歯科医会

大阪市教育委員会事務局 指導部 初等教育担当

大阪 市 教 育 セ ン タ ー 教育振興担当

● 図画・ポスター

応募枚数397枚（幼稚園2枚、小学校326枚、
中学校59枚、特別支援学校10枚）より入賞
作品56枚（幼稚園2枚、小学校34枚、中
学校16枚、特別支援学校4枚）を選出しま
した。入賞作品のうち、小学校低学年、高学
年、中学校、特別支援学校から最も優れた
作品より4点を選出し、一般社団法人日本
学校歯科医会主催の中央審査会に大阪市の
代表として送付しました。次に優れた作品
4点を一般社団法人大阪市学校歯科医会会
長賞とし、応募者全員に参加賞を配布しま
した。

〔日本学校歯科医会への推薦作品〕

小学校（低学年の部）1年生
鶴見小学校 たけべあやか 武部彩花

小学校（高学年の部）6年生
関目東小学校 やまだゆうすけ 山田祐輔

中学校
3年生
鯉江中学校 かたやま 片山ひかる

特別支援学校（高等部）3年生
難波特別支援学校 きしもとだいき 岸本大輝

〔大阪市学校歯科医会会長賞〕

小学校（低学年の部）1年生
関目東小学校 おがわともはる 小川智陽

小学校（高学年の部）6年生
聖賢小学校 そがりお 曾我梨央

中学校 2年生

鯉江中学校 やまもとあき 山本愛希

特別支援学校（高等部）3年生

難波特別支援学校 あづまゆうき 東祐希

なお、入賞された武部彩花さんの作品は
中央審査会でも優秀賞に入選されました。
については平成28年3月3日(木)開催の大阪
市学校歯科保健研究大会で、日本学校歯科
医会会長から表彰状を授与される予定で
す。

● 標語

応募総数は71点（小学校34点、中学校37
点）のうち、次の1点を一般社団法人日本
学校歯科医会への推薦作品として選出しま
した。

『歯みがきは 未来につながる 健康法』
市岡東中学校 3年生 おかだちさと 岡田千聖

代表作品の図画・ポスター、標語は大阪
市学校歯科医会ホームページで紹介すると
ともに、入賞作品を含めて下記の要項で展
示しました。

展示期間：平成27年11月6日（金）

～11月18日（水）

展示場所：大阪市立中央図書館

エントランスギャラリー

〔日本学校歯科医会への推薦作品〕

優秀賞受賞



関目東小学校 山田 祐輔



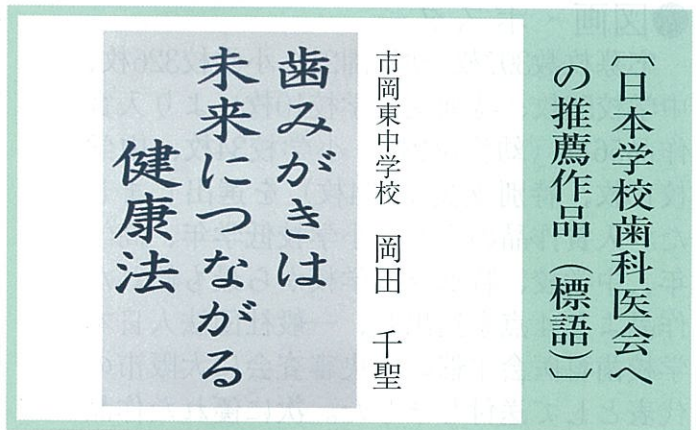
鶴見小学校 武部 彩花



鯉江中学校 片山ひかる



難波特別支援学校 岸本 大輝



市岡東中学校 岡田 千聖

〔日本学校歯科医会への推薦作品(標語)〕

〔大阪市学校歯科医会 会長賞〕



関目東小学校 小川 智陽



難波特別支援学校 東 祐希



聖賢小学校 曾我 梨央



鯉江中学校 山本 愛希

第79回 全国学校歯科保健研究大会

主催 日本学校歯科医会・日本学校保健会・
長野県歯科医師会
期日 平成27年10月29日（木）・30日（金）
場所 長野市 ホクト文化ホール
主題 「生きる力」をはぐくむ歯・口の健康
づくりの展開を目指して
日程



（1日目）

開会式・表彰式 13:00～14:00

ポスター発表 13:00～18:00

基調講演 14:15～15:35

演題 生涯を通じて自らの健康を保持増進するための学校歯科保健のあり方
～食育の基本は歯・口の健康づくりから～

講師 国立モンゴル医科大学 歯学部 客員教授 岡崎好秀
シンポジウム 15:50～18:00

座長 東京女子体育大学 戸田芳雄
シンポジスト 長野県教育委員会 保健厚生課 課長 宮下朋子

東京都中央区立久松小学校 養護教諭 上野弘子

東京都中央区立泰明小学校・幼稚園 元学校長 木暮義弘

高知県高知市立西部中学校 学校歯科医 野村圭介

懇親会 18:45～20:15

（2日目）領域別研究協議会

1. 保育所（園）・幼稚園部会

座長 日本学校歯科医会 理事 阿部直樹

コメンテーター 日本歯科大学歯学部 衛生学講座教授 福田昌臣

発表 長野県松本市役所保健課・大阪府河内長野市立三日市幼稚園

2. 小学校部会

座長 日本学校歯科医会 理事 土田雅久

コメンテーター 日本大学歯学部 衛生学講座教授 前野正夫

発表 長野県駒ヶ根市立赤穂南小学校・栃木県宇都宮市立陽南小学校

3. 中学校部会

座長 日本学校歯科医会 理事 渋谷昌史

コメンテーター 九州大学大学院歯学研究院 口腔保健推進学講座

発表 長野県上田市立真田中学校・和歌山県かつらぎ町立妙寺中学校

4. 高等学校部会

座長 日本学校歯科医会 理事 佐々木貴浩

コメンテーター 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 基礎研究部

部長 今関豊一

発表 長野県望月高等学校・東京都立足立東高等学校

5. 特別支援教育部会

座長 日本学校歯科医会 理事 渡辺幸男

コメンテーター 松本歯科大学 障害者歯科学講座 教授 小笠原正

発表 長野県花田養護学校・岐阜県立東濃特別支援学校

第79回 全国学校歯科保健研究大会に参加して

常務理事 羽生 卓也

当大会は2015年10月29日(木)、30日(金)の両日に亘って長野市ホクト文化ホールで開催されました。テーマは「生きる力を育む歯・口の健康づくりの展開を目指して」。趣旨は「現在、世界有数の長寿国である我が国では、いわゆる健康寿命の延伸が求められており、生涯に亘って健康のセルフ・コントロールが可能となるよう、学童期から自律的な健康の保持増進について子どもたちが自ら考え、生きる力を育んでいけるような学校歯科保健のあり方について考える」というものであります。

まず大会第1日目には開会式、全日本学校歯科保健優良校の表彰式の後、国立モンゴル医科大学歯学部客員教授の岡崎好秀氏が「生涯を通じて自らの健康を保持増進するための学校歯科保健のあり方～食育の基本は歯・口の健康づくりから」と題して基調講演をされました。内容は、まず自分は卒後38年の小児歯科医であること、専門は小児歯科の他、障害児歯科、健康教育であると自己紹介された後、モンゴルの口腔衛生事情についてお話されました。モンゴルでは未だに昔ながらの遊牧生活を送っている人々も多く、彼らの歯は非常に綺麗だそうです。しかし、首都ウランバートルでは容易に菓子やジュース類が入手できるため、むし歯が激増しているとのこと。昔の日本みたいですね。次に現在の日本の子どもたちの口腔内については「昔と今とでは、乳歯の叢生・過蓋咬合と下顎後退位・口呼吸・歯石の量、これらは増え、そして逆に唾液量は減っています」といった長い臨床経験を持つ先生ならではの口腔内状況の悪化を指摘されました。原因は遺伝的要素を除けば食生活の変化が口腔内に表れて

いるのではないかということです。例えば食べ方も今のように食べ物を小さく切らず、昔のように大きな口を開けてかじったりする食べ方が実は非常に重要で、口唇や舌の筋肉の発達を促します。ちなみに乳歯の叢生はこの舌機能の低下によるものと考えられます。また咀嚼回数の減少や、水やお茶に頼ったいわゆる「流し込み食べ」等は唾液を減少させます。そう言えば、これまで我が国では「何を食べるか？」という点に重きを置いて食育を考えてきましたが、「どう食べるか？」についてはあまり議論されてきませんでした。今こそ学校歯科医は、この食べ方の面からの食育について提言を行うべきではないかと結んで講演は終了しました。岡崎先生は近々、大阪市の港区歯科医師会の招きで講演会を開かれる予定です。

次に15分の休憩を挟んで基調講演と同テーマでシンポジウムが行われました。東京女子体育大学の戸田芳雄教授を座長として4名のシンポジスト(県教育委員会・課長、小学校・養護教諭、小学校・元校長、中学校・学校歯科医)が各々の立場から学校歯科保健活動の実践例の報告や今後の活動についての提案をされました。最後に座長の戸田先生が「生涯に亘る動機付けを行う方法」について意見を述べられました。それによると以下の3つの大切なポイントがあるということです。

(1)生涯学習の視点：生涯を通してモチベーションを維持させるのは容易ではない。そのことに興味や関心を持たせたり、私的満足感を感じさせたりする必要がある。学校のような集団の中では、「皆がやっているよ」という協調感や連帯感をいかに

子どもたちに植え付けることができるかにかかっていると見える。

(2)マネージメントの視点：子どもたちには個人差があるが、いちばん行動変容を起こしてほしい子どもだけでなく、全ての子どもたちが自分で考え、実行に移していくようにさせる。あくまでも子どもたちが主役であることを忘れてはならない。

(3)格差の拡がり：歯科に限らず学校保健活動全般に言えることだが、地域の問題でありながら実は個別の問題であったりする。民生委員やソーシャルワーカー等の協力も得ていかなければならない。

大会第2日目は領域別研究協議会で、幼・小・中・高・特別支援の5つの部会に分かれて各々研究発表が行われました。私が参加した小学校部会は座長に日学歯の土田雅久理事、コメンテーターには日大歯学部衛生学講座教授の前野正夫先生を迎えて始まりました。発表は2校で、先に長野県駒ヶ根市立赤穂南小、次に栃木県宇都宮市立陽南小。いずれもたいへん熱心に保健教育に取り組まれていることが伝わってくる内容だったと思います。前野教授のまとめは以下の通りであります。

赤穂南小へ：開校時のDMFT指数が2.2だったが11年前に1.0を切ってからはずっと0.5～1.0の間を推移しており、ほぼ定着したとみていい。2人の学校歯科医が児童の家庭としっかり手を組んでいることが特徴で、保健指導も親子で対応している。養護教諭もいろいろな手法で子どもたちの歯科保健への関心を高めている。食育については弁当を子どもたちに作らせたり、低学年と高学年の子どもたちに一緒に給食をとらせたりしている。また、子どもたちによる8020運動推進委員の存在には驚いた。例えば静岡県では8割の人がこの運動について知っている。しかし推進委員について知っている人は1%にも満たない。さて、22年前の開校時からずっと日常の歯と口の健康保持が生涯に亘っての全身の健康保

持に役立つことを教育してこられた。ますます頑張って継続して頂きたい。

陽南小へ：特徴として子ども本人よりもむしろ保護者の啓発に力を注いでいる。保護者に対する健康相談(書面による相談を含む)等を通して保護者の歯・口の健康保持についての関心や意識を高め、ひいては家庭全体の健康保持能力を高めている。また、子どもたちが自ら歯・口の健康を高めていけるような教育も行っている。例えばユニークなネーミングの「健康出前講座」については、教える側も教わる側もどちらも知識が高まり、とても良い学習になっている。そしてこれが子どもたち全部の行動変容に結びついている。ここ4年間、むし歯未処置者数が減少し続けていることがそれをよく表している。

両校へ：キーワードはどちらの学校も「むし歯・むし歯予防」であった。ペリオに関してはこれから更に取り組みたいということだが、例えば8020についてはむし歯よりむしろ歯周病が重要である。また顕微鏡で歯垢を見せることは大事。歯垢を減らす→菌が減る→全身の健康増進に結びつく。こういった事をできるだけ平易な言葉で子どもたちに伝えて頂きたい。

さて、当大会ではこれら講演会・協議会とは別にポスター発表会場で大阪市教育委員会が当会の岡本会長の監修の下、「フッ化物塗布事業を活かした健康教育～生活習慣とむし歯の関係について」と題したポスター発表を行っておられました。色鮮やかなグラフを多用し、理解し易くまとめられました。閲覧者への解説担当の北係長、お忙しかったようです。また、ポスターをあえて大判にせず、A4程度の大きさに分けて会場をつなぎ合わせる手法は素晴らしいと思いました。これなら運搬時にもかさ張りません。この時期、長野市は寒暖の差が大きく、体調管理に少し気を遣いましたが、いろいろと学ばせて頂きたいへん有意義な学会となりました。

平成27年度 全国学校保健・安全研究大会 第65回 全国学校歯科医協議会

平成27年度 全国学校保健・安全研究大会

日 時 平成27年12月3日（木）・4日（金）

場 所 愛媛県松山市 ひめぎんホール

(1) 全体会

開 会 式

表 彰 式 「学校保健・学校安全の功労者」
に対する文部科学大臣表彰が行な
われました。市学歯からは西川肇
副会長が受賞されました。



記念講演 「子供たちの意志決定能力を育てる」

ー健康教育とライフスキル教育のコラボレーションー

兵庫教育大学大学院 教授 西岡 伸紀

(2) 課題別研究協議会

第5課題 「歯・口の健康づくり」研究発表者

①愛媛県立宇和特別支援学校

養護教諭 片 桐 弥 生

②徳島県立徳島科学技術高等学校

養護教諭 近 藤 真 理

③高知県の町立長沢小学校

校 長 長 瀬 由 英

講義「学校歯科保健から生まれ出るパラダイムシフトー8020から8028へ」

九州大学大学院 教 授 山 下 喜 久

指導助言者（コーディネーター） 東京都教育庁地域支援部義務教育課 五十里 一 秋

歯科保健担当課長 三ツ木 浩

第65回 全国学校歯科医協議会

日 時 平成27年12月3日（木）午後5時

場 所 松山全日空ホテル

開 会 式 大臣表彰者紹介

大阪からは市学歯の西川肇副会長と府学歯の山野芳孝副会長の受賞が紹介さ
れました。

講 演 会 「学校歯科健康診断の改定について」

座 長 愛媛県歯科医師会

会 長 是 澤 恵 三

講 演 「今後の健康診断の在り方に関する検討会」・「児童生徒の健康診断マニュアル
改訂委員会」概要

日本学校歯科医会 常務理事 齋 藤 秀 子

「学校歯科医の活動指針改訂について」

～CO・GOの取り扱い及び健康診断結果のお知らせ等を中心にして～

明海大学 学 長 安 井 利 一

常務理事 河野 好昭

平成27年12月3日(木)・4日(金)愛媛県松山市ひめぎんホールに於いて、表題の大会が開催されました。

◇全体会

初日は、全体会にて文部科学大臣表彰式が行なわれ、それに続いて、兵庫教育大学大学院学校心理・発達健康教育コース西岡伸紀教授が意志決定能力の必要性・育成のためのコラボレーションについて講演されました。

1. 意志決定のステップは、意志決定すべき課題を明らかにして課題、選択肢、予想される結果等に関する情報を集める。そして、課題に対する選択肢を幅広く挙げ、選択肢を実行した場合の結果を予想して選択肢を選んで実行後、意志決定の仕方や結果を評価することです。
2. 健康に関する意志決定能力の育成には、健康教育と日常生活で生じる様々な問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な能力であるライフスキル教育を相互に関連づけることが有効とのことでした。

◇課題別協議会

第5課題の歯・口の健康づくりでは「生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方」と題した3校種の学校から研究発表がありました。

1. 愛媛県立宇和特別支援学校

歯科健康診断の効果的な実施に向けた取り組みとして、保護者の疑問や不安をなくすよう「保健だより」等で健康診断の趣旨や内容を知らせて、保護者の理解と協力を求め、家庭での健康づくりの実践を促すよう事前指導しています。一方、児童生徒への指導は、絵カード・テレビ等の視覚媒体を使って説明し、健康診断の流れを理解し、見通しを持つことができるようにしています。発表後の質疑応答では、聴講者から知的障害者に対して「ブクブクうがい」を修得させる有効な方法はあるかという質問が出ましたが、講師を含め会場内から誰一人として解決策となる発言はありませんでした。非常に難しい問題だと思われま

2. 徳島県立徳島科学技術高等学校

徳島大学歯学部と高大連携を取って歯・

口の健康づくりの取り組みとして、同歯学部が開発した「学校歯科保健支援ICTシステム」を利用し、生徒一人ひとりが自分の歯・口の健康状態やワークシートを確認しています。

3. 高知県の町長沢小学校

高知県山間部の児童数15名の町立小規模小学校では、学校・家庭及び地域社会と連携して学校歯科保健活動を進めています。小規模校の特徴は、手厚く指導・支援が行き届く反面、自立的な生活態度が育ちにくい傾向があり、身体的には肥満傾向やむし歯の未処置などの課題があります。家庭との連携として、家庭との協働体制の向上を図る為に「げんきっこのカード」(生活アンケート)を充実させ、歯・口腔衛生に特化した情報で取り組みの強化を目指した「歯ハハだより」を発行し、親子歯みがきカードも実施しています。地域との連携としては、保健師・管理栄養士から保護者向けに、歯と口の健康づくりと関連づけた食事指導を行い、望ましい食生活の意識づけをしています。また、栄養バランスのとれた食事や、よくかんで食べることの重要性について、食生活改善推進委員(ヘルスマイト)による料理教室を開催しています。

◇講義

九州大学大学院山下喜久教授から「学校歯科保健から生まれ出るパラダイムシフトー8020から8028へ」の演題で講義を受けました。むし歯と歯周病は歯科の2大疾患であるが、それぞれに対する対策は大きく異なっていて、学校保健に於いては、むし歯の地域格差対策としての保健管理が重要であり、歯周病については長い人生を見据えた保健教育を通じて豊かで実りある生き方ができる術を伝えることが大切であることを強調されました。

今回の大会に参加して痛感したことは、学校(全教職員)・家庭・地域との連携の必要性で、検診はもとより学校歯科保健事業を実施するにあたっては、養護教諭を軸に各連携を密にして理解・納得の下、参画するべきであるということです。

第65回 全国学校歯科医協議会に参加して

常務理事 河野 好昭

平成27年12月3日(木)愛媛県松山市松山全日空ホテルに於いて、17時から2時間余りの予定で開催されました。

1. 一般社団法人 日本学校歯科医会齊藤秀子常務理事から2つの課題の講演がありました。

(1) 「今後の健康診断の在り方等に関する検討会」

検討会が平成24年に設置されるまでを学校における健康診断の歴史的背景から講義されました。

(2) 「児童生徒の健康診断マニュアル改訂委員会」概要

改訂委員会は、平成26年7月30日に日本学校保健会に設置され、平成27年9月に「児童生徒等の健康診断マニュアル平成27年度改訂」が各学校に配布されています。その中で、健康診断の実施に係わる留意事項として、児童生徒等の健康診断の目的・役割について、家庭における健康観察を踏まえて、学校生活を送るに当たり支障があるかどうかについて疾病をスクリーニングします。そして児童生徒等の健康状態を把握するという役割と、学校における健康課題を明らかにすることで、健康教育の充実に役立するという役割があるということです。

2. 一般社団法人日本学校歯科医会学術委員会委員長安井利一先生(明海大学学長)

「学校歯科医の活動指針」改訂について—C O・G Oの取り扱い及び健康診断結果のお知らせ等を中心にして—と題して講義されました。

(1) 平成6年12月に学校における歯・口腔の健康診断は「疾病発見志向」から

「健康志向」へと大きく変遷し、生活習慣病であるむし歯や歯肉炎においても、C OあるいはG Oをスクリーニング項目に入れることにより、子どもたちに生活習慣病の途中の段階を理解させ、ヘルスプロモーションの理念に基づき「自らの健康を改善しコントロールすることができるようにするプロセス」を学校における保健指導を中心に展開することになりました。

(2) 平成28年度から健康診断を的確かつ円滑に実施するために、健康診断を行うにあたっては、あらかじめ児童生徒等の発育、健康状態等に関する調査を行うことになりました。次にC O・G Oについてですが、定期的観察が必要であるG Oは「歯垢の付着があるが歯石の沈着はなく、定期的な観察が必要で、生活習慣の改善と注意深いブラッシング等の適切な保健指導を行うことで炎症性症候が消退する程度の歯肉炎を有する児童生徒等」としました。

(3) 昭和61年の日本学校歯科医会学術委員会の報告に出た概念であるC Oは、「精密検査を要するう蝕病変(特に隣接面)」の表記を「隣接面や修復物下部の着色変化、小窩裂溝や平滑面の所見の状態が多数認められる場合等、地域の歯科医療機関との連携が必要な場合が該当する。学校歯科医の所見欄に〔C O要相談〕と記入」としました。

以上のことから、平成28年度の健康診断にあたっては養護教諭と事前に改訂の詳細について入念な確認・打ち合わせをして、的確な検診に臨んで頂きたいと思えます。

◆平成27年度 学校歯科保健連絡協議会◆

(旧名：合同事業打合せ会)

当協議会は大阪市の学校保健に関わるメンバーが一堂に会して打合せを行なっています。従来は合同事業打合せ会という名称でしたが、学校歯科保健に特化した会議なので「学校歯科保健連絡協議会」という名称に今年から変更されました。参加された学校関係者には歯科の専門知識を持ち帰る事が出来るように4つの研修会の報告を行いました。また 事前に発言依頼箇所を通知しましたので、参加者からは活発な意見を拝聴することができました。学校で児童生徒の教育に直接関わっている参加者からの情報は本当に貴重で、今後の大阪市の学校歯科保健指導に生かして行きたいと思っております。



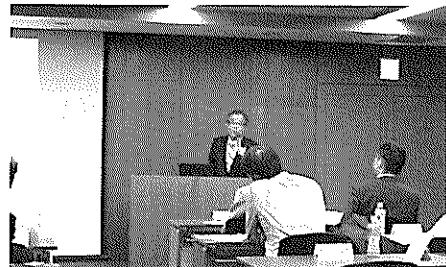
また 事前に発言依頼箇所を通知しましたので、参加者からは活発な意見を拝聴することができました。学校で児童生徒の教育に直接関わっている参加者からの情報は本当に貴重で、今後の大阪市の学校歯科保健指導に生かして行きたいと思っております。

日	時	平成27年11月12日 (木)	午後4時～6時
場	所	ホテルアウリーナ大阪	3階 生駒の間
出	席	校 園 長 部 会 養 護 教 員 部 会 大 阪 市 教 育 委 員 会 ライオン歯科衛生研究所	保 健 主 事 部 会 大 阪 府 歯 科 衛 生 士 会 こ だ も 青 少 年 局 大 阪 市 学 校 歯 科 医 会

日 程

開	会	挨	拶	司	専	西	本	達	哉
会	長	挨	拶	会	副	西	本	卓	士
大	阪	市	教	出	課	岡	野	新	之
席	者	自	己	席	長	宇	野	祐	
協	議	内	容	専	務				
1.	大	阪	市	専	務	西	本	達	哉
2.	大	阪	市	副	務	川	上	力	
①	幼	稚	園	会	長	西	川	肇	
	・	幼	稚	常	務				
②	小	学	校	副	務				
	・	2	年	藤	野	康	徳		
	・	4	先	西	本	達	哉		
	・	6	年	会	長	岡	本	卓	士
③	中	学	校	部	長	稲	葉	卓	
④	子	ど	も	副	会	西	川	肇	
3.	学	校	安	副	会	長	美	三	
	・	来	年	常	務	西	川	力	
4.	そ	の	他	副	会	長	美	三	
	・	ラ	イ	常	務	西	川	力	
				副	会	長	美	三	
	・	大	阪	常	務	西	川	力	
	・	D	M	副	会	長	美	三	
	・	凶	画	常	務	西	川	力	
	・	大	阪	副	会	長	美	三	
	・	生	き	常	務	西	川	力	
	・	大	阪	常	務	西	川	力	
閉	会	挨	拶	副	会	長	美	三	

平成27年度 大阪市学校歯科医会 指導者講習会



大阪府歯科医師会にはスポーツ歯科推進室が立ちあげられました。さらに平成27年11月12日に日本体育協会公認スポーツデンティスト協議会設立総会が開催され、会長には大阪府歯科医師会太田謙司会長が13名の役員と共に就任されるなど、本格的にスポーツ歯科に取り組む体制になってきております。

スポーツ歯科は学校におけるクラブ活動が対象になりますので、歯科医師の中でも学校歯科医が率先して活動すべきであるという主旨の下、大阪府歯科医師会のスポーツ歯科推進室室長の片岡宏之常務理事を講師としてお迎えして、講習会を開催致しました。

日 時 平成27年10月17日 午後3時～4時

※同日に開催されました支部長会終了後に開催いたしました。

場 所 大阪府歯科医師会館 第6会議室

演 題 スポーツ歯科とスポーツデンティストについて

講 師 大阪府歯科医師会 片岡宏之常務理事

受 講 者 大阪市学校歯科医会 役員・支部長

講演内容

1. スポーツ歯科医学に関わる法制度から現状と未来を考える
 - 1) スポーツ基本法
 - 2) スポーツ基本計画
 - 3) 学校保健安全法
2. スポーツ歯科医学の目的から現状と未来を考える
 - 1) スポーツによる国民の健康・安全づくりを支援する歯科医学的配慮
 - 2) 顎顔面領域でのスポーツ外傷を予防するためのサポート
 - 3) スポーツ競技力の維持向上を支援するための医学的配慮
3. スポーツと歯科医師の役割から現状と未来を考える
 - 1) 日本スポーツ歯科医学会認定医
 - 2) 日本体育協会認定スポーツデンティスト
4. スポーツ歯科に関する日歯の対応
 - 1) 公認スポーツデンティストの養成開始（平成25年～）
5. 公益財団法人日本体育協会 メディカルコンディショニング資格とは
6. 公認スポーツデンティスト養成講習会について
 - 1) 受講者について
 - 2) 受講申込から受講決定までの流れ
 - 3) 養成講習会のカリキュラム
7. 今後のスポーツ歯科の取り組み

スポーツ歯科の講演後も、大阪歯科大学の吉川一志准教授から提供して頂いたスライドを使いながら、外傷歯への対応も講演して頂き大変有意義な講習会となりました。

スポーツデンティストになるためには、受講資格をクリアーして、養成講習会の数多くのカリキュラムを受講しなければなりません。市学歯の会員からひとりでも多くのスポーツデンティストが誕生することを願っております。

子どもの歯を守る懇談会 報告書

日 時	平成27年10月17日 土曜日（8時45分～11時10分）
場 所	生野区 舍利寺小学校
対 象	1～6年全学年児童
講 師 名	林 昭典（1～3年担当） 西本 達哉（4～6年担当）
演 題	バイオフィームについて（林） 「歯みがき名人になろう」～生活リズムの一つにしよう～（西本）
講 演 内 容	<p>舍利寺小学校校門そばのメダカ池の水草や泥のヌルヌルした中には微生物がいっぱい棲んでいる。私たちの口の中にも同じようなヌルヌルした歯垢中にもいろいろな菌が棲んでいる。でもすぐに腹痛やカゼを引かないのはどうしてだろうか？むし歯菌や歯肉炎を起こす菌は常在菌というもので、私たちと細菌と一緒に棲んでいる。口の中にお菓子や砂糖を含んだ清涼飲料水を飲むと、それらの菌が酸を作って歯を溶かし始める。むし歯の始まりで、このヌルヌルはうがいでは取れない。だから隅々までしっかりと歯みがきをして欲しい。児童は講堂から教室に移り、私は各教室を回り、パペットを使って、ブラッシング指導を行った。（林）</p> <p>1. 歯と口に関するクイズ5題（全問正解した人は歯の博士になれますよと言ったが正解者はいなかった。） 2. 位相差顕微鏡実習 3. 再石灰化の話（パワーポイント使用） 4. 歯みがきじょーずくん・歯みがき圧測定実習 5. 教室に戻り各自歯みがき、以上の内容で指導を行なった。（西本）</p>
学校の協力度	<p>養護の村井先生は大変協力的で、子どもたちのことをよく観察されておられ、前日に器材を届けて打ち合わせをした際には、もう一人の男性教諭も体育館でPCや位相差顕微鏡とプロジェクタとの接続を丁寧に確認して下さいました。</p>
感想・課題・反省点	<p>バイオフィームの話は、少し難しいかなと思ったが、色々な例を挙げていくと、「お風呂の釜から出てくるのも同じ?」「洗濯機の黒い汚れも?」と私が想定していた以上にわかっていた。位相差顕微鏡で見せたときは、驚きの声が上がった。「その菌を飲み込んでもだいじょうぶ?」と聞かれたので、胃の中で溶けてしまうと答えた。思いもよらない質問が飛んできてこちらがアタフタすることもあった。じょーずくんを使って、歯みがき指導をしたが、大変食いつきがよく、やっている本人が驚いた。低学年は、パペットで説明をした方が効果的だし、腹話術もませたら大成功間違いなしと思った。講堂で、聞いている父兄の人数が少ないのが残念だった。（林）</p> <p>限られた時間の割にスライドが多すぎたり、実習も欲張って生徒は消化不良になったかも知れないが、クイズには積極的に答えてくれた。各教室で歯みがきをしている様子を見て回ったが、水道の蛇口も少ないのに普段から給食後の歯みがきができていないと感じた。担任の先生が「せっかくだから先生に綺麗にみがけているか見てもらいなさい」と言って下さって、並んで口を開けて見せてくれる素直な生徒ばかりだった。</p> <p>終了後、保健室で養護教諭と雑談をしたが、250名ほどの全校生徒を全て把握されておられた。生野区は推進事業をされて学校歯科保健に対する意識が今でもとても高いと感じた。（西本）</p>

子どもの歯を守る懇談会 報告書

日 時	平成 27 年 11 月 26 日 木曜日 (午後 3 時 30 分 ~ 4 時 10 分)
場 所	中央区・東 中央高等学校
対 象	生徒・教職員 (約 200 名)
講 師 名	上田 裕彦
演 題	歯と口の健康
講 演 内 容	<p>歯科の 2 大疾患であるう蝕と歯周病について、その原因と病態について、市学歯のパワーポイントのスライドを用いて解説した。講演対象が高校 1 年生ということで、将来的に歯周病で歯を喪失することの無いように、GO や G を放置することの危険性を説いた。また、「ブラッシングを科学する」のビデオも併せて上映し、ブラシの毛先を活かした清掃をし、口腔内環境を良好に保つことを指導した。</p> <p>また、タバコの有害性についても解説した上で、生涯に亘って健康を保つためには食生活と生活習慣を向上し維持することが重要であることを講演した。</p>
質 問 事 項	<p>講演時間が 35 分程度であったので質疑応答の時間的余裕はなかった。</p> <p>スライドの枚数を絞り込み、ブラッシングのビデオも前半で区切って、出来るだけ生徒たちの印象に残る分かりやすい講演に努めた。</p> <p>夜間部の生徒には、中央高校の学校歯科医である柴田啓子先生が懇談会を担当される予定である。</p>
学校の協力度	<p>打ち合わせから保健主事と養護教諭に協力を頂き、検診結果と受診状況をはじめ、生徒たちの普段の雰囲気など、丁寧にご教授頂いた。</p> <p>講演の際には多くの教員の方が参加して頂き協力を得た。</p>
感想・課題・反省点	<p>中央高校は、珍しい単位制の高校である。今年の受講はクラスナンバーが 61 からの約 200 名であった。例年は、ライオンの歯科衛生士による講演を開催されていたようである。</p> <p>講演中は比較的静かに聴講してくれていたが、スマホに視線を落としている生徒も少々いたようである。より興味を引く講演をできるよう工夫したい。</p>

子どもの歯を守る懇談会 報告書

日 時	平成27年11月5日 水曜日（午前10時15分～11時15分）
場 所	北区・大淀 中大淀幼稚園
対 象	保護者（17名）
講 師 名	普光江 暁
演 題	むし歯予防 咬合と歯並び 食生活と食育 ブラッシング
講 演 内 容	<p>講演の依頼の項目で、食生活と食育に二重丸がついていました。</p> <p>中大淀幼稚園では食育に力を入れているようで、食生活と食育の話を入れて講演をしました。</p> <p>年少さんのお母さんが中心でしたので、幼稚園に入ったら団体生活の始まりであり、これは食生活のリズムを整えるチャンスであること、自分の家以外で食べたり飲んだりする機会があるので、おやつは保護者どうして話し合っ、時間を決めてだすこと。他の人と食べることでマナーが身につくことなどをおりまぜて講演しました。</p>
質 問 事 項	<p>保護者からの質問</p> <p>乳歯ですが受け口で、近所の歯科医院で早く矯正をしたほうが良いので、矯正科の受診をすすめられた。</p> <p>回答</p> <p>永久歯にすべて生え変わるのは、10歳前後で、矯正装置をいれることで、むし歯になるリスクはアップすること、乳歯の歯並びを治しても永久歯の歯並びがよくなる保証はない。するのであれば、床矯正装置で顎の拡大をする。</p> <p>養護教諭からの質問</p> <p>検診でむし歯の紙をもらった児童が、歯科医院を受診したところ、まだ治療しなくて良いと言われた。</p> <p>回答</p> <p>検診はスクリーニングである事を説明しました。</p>
園 の 協 力 度	<p>昨年はパソコンとプロジェクターをつなぐコードが短くて、やりにくかったのですが、今年は幼稚園が購入して用意していただきました。</p>
感 想 ・ 課 題 ・ 反 省 点	<p>日本学校歯科医会会誌118号の『歯科講話の実践と保健教育』を参考にしました。</p> <p>保護者に歯垢を知っているか質問しましたが、思った以上に知らない人が多かった。たとえ話のキッチンの三角コーナー、チョコレートの食べ方（ステファンカーブ）は、保護者に対してもわかりやすく理解してもらいました。</p>

平成26年度 年間活動報告書の記載内容

返送して頂いた年間活動報告書には、会員の先生方からさまざまなご意見やご要望を書いて頂きました。その中の一部を校種別に記載しますが、今回は検診器具や照明に関するご意見やご要望を主に報告させていただきます。

【幼稚園】

1. パネルシアター・染め出し・保護者によるチャート作成・保護者への講話・欠席者の検診・個別指導などを行なっている。
2. 幼稚園の保健だよりを通して保護者検診の希望を聞いたところ、15名のお母さんの要請があった。お母さんにとって下に子どもがいたりして、なかなか検診に行く機会がないが、検診を受けて説明を聞くだけでも安心していただけたようだ。
3. 照明は明るい方が良いのでヘッドランプかハンディランプを支給してほしい。
4. ヘッドランプを使用して良くなったが、子どもたちは眩しいのを嫌がる。

【小学校】

1. 就学時検診時、保護者同伴のために口腔衛生指導・食生活・生活習慣指導を必要に応じて行なったので時間がかかった。
2. 50周年祝賀会に出席。給食後のブラッシングの方法を養護教諭と相談していますが、手洗い水道水の数と児童数のバランスでは大変なのが現状です。
3. 照明の改善をお願いできないでしょうか。現在は1個の照明で行っていますが、左右両方のからの2個の照明にはできないでしょうか。
4. DMFT指数等を提出して表彰されているようですが、歯ブラシ20本より1本でも良いから検診用のミラーが良いと先生が言っていました。
5. 定期検診を児童数減少のために1日で実施しようと考えていますが、ミラー不足で不可能であるとのこと。
6. 学校の検診器具を当院のオートクレーブで滅菌している。
7. 小学校1～6年生は身長にも差があるために普通の椅子では対応が大変です。ピアノの椅子のように高さが調節できるものであればと思います。照明も高さが調整できずにうまく活用できていません。

【中学校】

1. 臨時検診は1学年ずつ行なっているが、手鏡を持たせて口腔内の状況を知らせている。GOの生徒には歯ブラシを渡して歯肉炎の部位の歯みがき方法を個別指導している。
2. 検診日の設定は、事前に医科が複数日を設定していることが多く、歯科の設定日も少なく、協力医と1日で済ますようにしている。
3. 卒業生徒に自分の歯を観察してもらうために毎年「手鏡」を贈呈。養護教諭には歯みがき指導をしてもらうための50本の歯ブラシを提供している。
4. 検診は校医1名では人数が多く、学校からの昨年まで3日でやっていたのが2日にしてほしいとのことである。照明は一人ひとり方向と高さを変えなければ臼歯部が見えにくい。
5. 照明が薄暗くペンライトを使用している。エクスプローラーを使えないため不便。

【高等学校】

1. 生徒数は多いが検診は学校歯科医が行なう事を学校に説明して、日程を検討して受診率100%を達成している。

【特別支援学校】

1. 協力医・歯科衛生士が記録して実施し、速やかに進めることができた。歯みがき指導の実施時に欠席者の歯科検診を実施して未受検者をなくした。
2. 歯みがき指導は1年と4年・中学部・高等部全員を個別指導し、フッ化物塗布は小・中・高全員に行なっている。

照明の不備やミラーの本数に関しては多数の先生方から要望が出されました。改善できるように学校に申し入れていますので、相談して下さい。又、エクスプローラーは使用禁止ではなくて、CR充填歯の判定や食べカスを取るのに必要なのでお使い下さい。

尚、照明の不備やミラーの本数が少ないために、口腔内に指を入れて診査する事は厳禁です。もし、やむを得ず指入れをした場合は手袋の交換を必ずお願いします。

学校歯科医生涯研修制度 専門研修を受講して **座談会**

【参加者】川上 力・上田 裕彦・柳田 和彦・村尾 直人・普光江 暁（専門研修受講者）

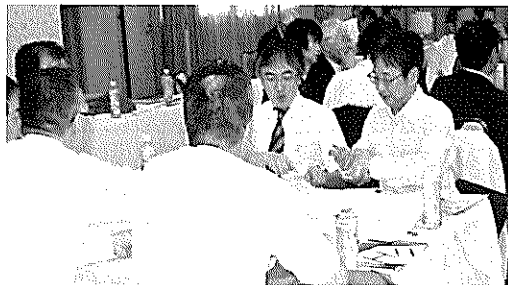
【聞き手】岡本 卓士・美島 達平・西本 達哉・羽生 卓也

【日 時】平成27年11月19日(木) 午後7時より

【場 所】大阪市学校歯科医会 分室

【内 容】

1. 受講したばかりの11月15日の専門研修の感想
2. 講義内容やワークショップの内容と受講した感想
3. 講師の先生や全国から集まった学校歯科医の様子
4. 生涯研修登録学校歯科医を生かすには



司会：今日は専門研修を受講されている5名の先生方にお集り頂きまして有難うございます。先生方が研修された内容をお話しいて市学歯の会報に掲載する事になりました。受講された感想など忌憚のない話をしてもらえたらと思います。では、4日前に保健管理を受講された先生から報告をお願いします。

（保健管理）

上田：15日の日曜日に日歯会館で10時40分から4時40分まで保健管理の専門研修を受講してきました。山崎健次先生の講義と黒田敬之先生の「歯列・咬合・顎関節のスクリーニングのキー」の講義がありました。その後、ワークショップに入り、10班に分かれて各10症例を1症例5分で検討して、班の意見としてまとめてグループ発表します。その後、黒田先生から症例解説と研修講評がありました。

司会：矯正はどんな症例ですか。

上田：最初は矯正の症例とは言わずに「検診した時にどのように判定しますか」という風に聞いてきます。この第1症例ですと「0」か「1」かの判定に分かれる所をグループで検討します。若干の不正咬合は認められ、判定基準では「1」と判定したものが、実際には矯正で治療を受けているケースがありました。これらは保険外の治療になり

難しいです。顎関節に関してはあまり出ませんでした。

司会：症例数はどれくらいあるのですか。

上田：全部で10症例あります。結構長い目の時間を取ります。黒田先生の10症例の評価としては「保健管理としてはボーダーラインが無い。検診する学校歯科医の目を通して各個人の保健指導に生かしてくれば良い。」と、曖昧な所があります。

村尾：色々な判断材料を渡されて、発達段階に即したアドバイスや事後措置について、養護教諭や保護者そして本人への健康相談や事後措置の助言を検討していきます。

柳田：保健管理ではこの矯正の診断が一番難しかったですね。

川上：専門的な矯正家ではなくて、学校歯科医として見なさいという感じで、判定の難しい症例が多かったです。これは9歳とは思えないケースで、症例も20年前で古かったです。上下7番がすでに生えている。アデノイドのケースもありました。

上田：黒田先生の症例が古く、抜歯症例が多かった。

村尾：スクリーニングという事で「診断と治療方針を生徒に押し付けるのではなくて、方針としては学校の養護教諭や保護者と相談しなさい」という事を何度も言われていました。自分としては健全と思うのが「1」や「2」と



なるのが多かったです。黒田先生が矯正専門家で見ると観点が違うし、病院の矯正科に送られて来たケースばかりかもしれませんね。

川上：顔写真が無かったので口腔内だけを見て判定するのは無理があるように思います。

上田：実際には、顔が腫れていたとか。顔貌の写真を見せてくれないと難しかったです。

司会：それらの症例に対する班ごとの検討とか討論はどうだったんですか。

普光江：「2」と診断されたので矯正歯科医に行くと言われたというケースを言われていました。専門医に行かずに検診した先生か、かかりつけの先生に行ってもらった方が良かった。自分は幼稚園の校医で良かったと思いました。

川上：東京の先生が診断料とか紹介料とかで問題になったと言っていました。

普光江：事前アンケート調査をして、歯列にまったく興味がないのは「0」か「1」にしてくださいとの事です。

上田：本人が歯列を気にしているようなら、相談に行ってくださいという事でしたね。

柳田：検診の場で歯列不正の事を言うのは難しいですね。保険以外のお金がかかる治療になるので治療勧告をしない。相談しなさいのレベルにすることが大事です。

川上：矯正をしている先生はこうすればこうなると歯列を見れば先の先まで読んでしまう。一般の先生はそこまで考えていないように思う。

司会：最近矯正している生徒が増えましたね。その子どもたちへの注意事項は無かったですか。

川上：矯正装置が入っている人は歯列の診断はせずに、矯正治療中という診断で校医所見欄に記入する。

司会：その10症例はグループでどのように検討するんですか。

村尾：検討は10症例全部します。それぞ

れに1～17の項目があって全部検討します。発表するのは1症例でこれはクジ引きで決めます。

司会：この17もある沢山の項目の検討をするのはスムーズにできましたか。

上田：これは専門家でなければ普段はしていませんから難しかったですね。

普光江：皆黙りこんでしまったんですが、誰かが口火を切ってくれました。

川上：受講者に矯正の専門家が少ないので、誰かがひとこと言ってもらうと助かる。

村尾：私の班は専門研修を3つ全部受けている人がいて、その人が全部まとめてくれて助かりました。他のコースは養護教諭が待機している。

司会：ワークショップは大変でしょう。見ず知らずの先生ばかりで。

柳田：アイスブレイクと言って最初に紹介があって、その時に分担ができます。

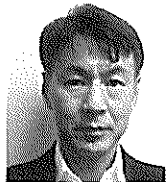
司会：そのアイスブレイクはニックネーム紹介とあります、班のリーダーはすぐに決まるのですか。

普光江：自分の紹介のおまけでニックネームを言いますが、その名前呼びあうことは無かったです。私の班は東京の2人の先生が知り合いで、歯科医師会の口腔保健の理事だということで「先生してくださいよ」等と言い合って不思議に決まっていきました。

川上：同業者ですが、隣が教授だったりとか、日学歯の理事だったりとか最初の1年目は多かったですね。相手の肩書きを知らずにしゃべっていましたが、仙台市の会長だったりとか、えらい人がゴロゴロしていました。

司会：保健管理では、矯正以外の事で検診をする時の注意事項や判定基準の話は無かったですか。

村尾：文部科学省の学校保健統計調査や各都道府県での統計調査の話がありました。DMFT指数などからの、統計数値の取りだし方の説明がありました。学校単位で資料を積み上げるのですが、厚生労働省が行ったのは、サンプリングであって全部の診査結果ではないのでバラつきがある。



になりきる事を体験するロールプレイングの手法が入るのですね。

上田：私の班は校医役の先生が頑張り過ぎて、他の役割の先生のコメント発表がカットされました。最後は養護教諭の先生がまとめて発表しました。

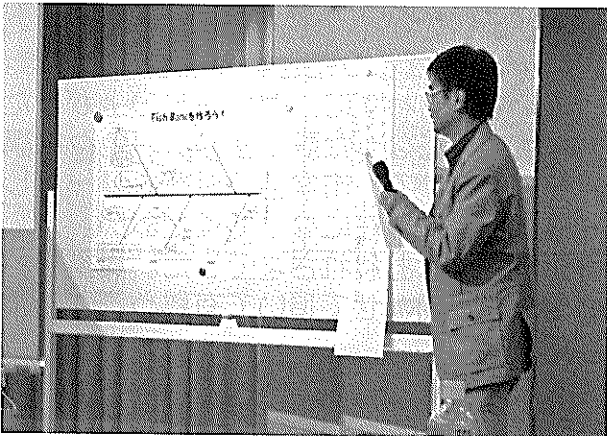
司会：それは養護教諭役の先生ではなくて本当の養護教諭の先生ですか。

柳田：本当の養護教諭の方です（笑）。発表は1班10分ぐらいですが、遠方から来られている先生が多いので時間延長は出来ないようです。

司会：最初にブレインストーミングする時はなぜ6年生が選ばれたのですか。

上田：理解はあるけれど、分からない事もいっぱいあって、また黙ってもしられなくてという6年生の年代が選ばれたのだと思います。

柳田：6年生の気持ちになるのがしんどかったですね。6年生の時に何を考えていたのか思い出すのが難しかったです。



司会：結論はどのような内容が多かったですか。

上田：だいたい班ごとの結論は同じ内容が多かったです。

村尾：ゲームをやりすぎないようにしようとか、携帯を持たせないとか、スマホの時間を短縮するとか。

川上：最近の児童の生活態度が不規則で、ゲームに没頭する子どもが心配という先生が多かったです。

司会：安井先生や木暮先生の講義はどのようなでしたか。

川上：自分のテキストに沿ったガイダンス的な話しです。安井先生は自分の書いた本

を読んでいると眠くなる（笑）と言っていました。話しは上手ですね。各班の結論に対する総評は素晴らしかったです。木暮先生は泰明小学校の校長の時からのすごい仕事をされていましたね。

岡本：市学歯の新任学校歯科医の研修会の最初の総論のスライドは、この木暮先生のスライドを基本にして毎年編集しながら使っています。

村尾：保健教育が最初だったので、すんなりととっつきやすかった。最初が保健管理だと難しかったかも。最初に受講するのは保健教育が良いと思います。

（組織活動）

司会：では最後の組織活動に行きます。これを受講されたのはこの中で上田先生と柳田先生だけですね。

柳田：校長、教頭、担任、養護教員、保護者、児童、学校医などに保健センターの歯科衛生士と地域評議員などの10人の役がついてロールプレイングしていきます。

司会：学校の条件は出てくるのですか。

柳田：各グループに現役の養護教諭が入り、学校の現状や問題点を説明します。中学校の各学校の特色で、スポーツに力を入れているとか学力向上に熱心な学校とか、東京の下町、田舎の中学校、住宅地の学校とか、6班に分かれて行かないです。各班の特色が全部違って、生徒への対応の仕方が変わってくるので面白かったです。

司会：どのような特色の学校が一番面白かったですか。

柳田：保護者が共働きの家庭が多いとか、保護者の出席率が低いとか、生徒の約半数が学習塾に通っているとか、部活動が盛んではないとかの条件が出ます。また、生徒数も全部違って、この学校は390名で高層マンションがあり、駅や病院、保健センターが近くにあるとかの学校でした。

上田：これらの学校の特色を聞いて、学校に携わる人間として、実際に学校保健委員会を開催した時の再現をしていきます。

司会：役割分担はどのように決めるのですか。

柳田：クジ引きで決めます。学校歯科医役

になれば良いのですが、生徒役になってしまいました(笑)各役柄になりきり、問題点を付箋紙に書いて大きな模造紙に張っていきます。KJ法(※3)によって縦軸に緊急度、横軸に重要度として付箋紙をグルーピングの島にします。

上田：他のメンバーからも「島になった付箋紙」へ追加の意見を出し合い問題点を集約していきます。そしてそれぞれの立場で解決策を考えて、全体的な学校保健安全計画の方向性を検討します。

司会：発表の時もそれぞれが役割になりきってするんですか。

柳田：ある学校では歯と口の健康教室を開催しようとか、フッ化物塗布をしていこうとかの課題を決めていきますが、全部役が違うので、それぞれの役になりきってコメントをしていきましたね。

村尾：私の学校の学校保健委員会は6年生の保健委員の発表の場になっているんですね。発表した内容を三師の先生が総評して評価してあげるのがいいんじゃないですか。

上田：全国の学校保健委員会の設置率は90%ですが、大阪市は指定都市の中でも一番低いんです。年に1回開催してもOKですが、中味がどうなっているかが問題ですね。日学歯は回数よりももっと内容を充実させたいと考えているようです。それで地域の保健委員会に広げてほしいという意向のようです。

岡本：今、鶴見区で実践してもらっている推進事業は区単位の学校歯科保健活動ですから、それに近い形になっていると思うのですが、学校保健委員会は開催しようと思っても医師、歯科医師、薬剤師の三師の出席するための日程調整が難しいようですね。

司会：昔の日学歯セミナーは受講した先生を講師役にして伝達講習会をしていましたが、今回の専門研修は伝達講習会ができますか。

岡本：この組織活動の学校保健委員会の再現をすると面白いと思いますよ。小学校と中学校の特色を色々出してそれらの学校での保健指導内容を役割分担して委員会を

再現して会員の先生方に体験してもらう。柳田：その時は身内で練習しないと駄目ですね。分室があるのでその役になりきって思い切り練習して手本を見せるようにしますか。

司会：3つの専門研修を終えて今どのような感想をお持ちですか。

上田：3つを終えて具体的な解決策は何ひとつ無かった。その場その場で自分で判断して、学校へ行って、校長、養護教諭、そして生徒を相手にした時に自分の味を出して、解決策を導いてくれというか、判断して参考にしてくれ、という感じでした。色々刺激を受けたし、こういう考え方もあったんだと分かったんですけど、研修の成果は何かということ出しづらいところがありますね。

柳田：技術的なものではなくて観念的ですね。「そういう方向でしてください」ということですね。

司会：認定証をもらって心構えとか意識は変わりましたか。

柳田：やっと終わったという感じですかね。岡本：そう言わずに、グレードの上がった学校歯科医になった訳ですから、色々な講師役を引受けて、市学歯の組織をリードしていくような存在になってください。

司会：今日はお疲れさまでした。貴重なお話を沢山聞かせて頂いて有難うございました。

☆語句の解説

(※1)ブレインストーミング

集団でアイデアを出し合う事によって相互交錯の連鎖反応や発達の期待をする方法である。人数に制限はないが5~7名が望ましく、議題は予め周知しておく。集団思考・集団発想法・課題抽出ともいう。

(※2)4つの原則

①結論を出さない。②粗野な考えを尊重する。③質より量で量を重視する。④アイデアを結合し発展させる。

(※3)KJ法

データをカードに記述し、カードをグループ毎にまとめて図解し、論文などにまとめていく。共同での作業に用いられ創造的問題解決に効果がある。



会員報告書

東住吉区支部研修会 報告書

日 時	平成27年12月5日土曜日 (午後1時～5時)
場 所	東住吉区民ホール
演 題	大阪市学校歯科医会東住吉支部研修会
講 師	大阪市学校歯科医会 豊田 裕章 先生
参 加 者	学校歯科医 その他 (9名)
講 演 内 容	<p>支部としての初めての試みとして、</p> <p>第一部 大阪市の公衆型事業としての、大阪生生涯歯科保健推進事業を東住吉区歯科医師会が食育教育講演会を区民に対して開催する事になりました。歯科医師会をサポートする大阪市学校歯科医会東住吉支部として「豊田先生」の講演の下準備を行いました。</p> <p>大阪市学校歯科医会東住吉支部会員の現地研修として、講演を聴講する。</p> <p>第二部 講演終了後、別室会議室において会員研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一部の講習は一般区民に対してですが、学校歯科医の会員に対して深く掘り下げて再度指導していただいた。 ・学校検診時の豊田先生の行い方 (保健室で子どもたちにスライドショーで口腔衛生指導を行っておられ、基本姿勢やアドバイスやスライドの選択等) ・ウルトラマイクロブラシ ・今回のCO診断等の変更に対する指導 ・市学歯ホームページの会員ページ活用法 ・あいうべ体操 ・経口補水液について ・弁当の日 ・成人病胎児発症説 <p>その他の多くの情報提供をいただきました。 図書・DVD・YouTube</p>
課 題 ・ な ど	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室における検診のレイアウト・スライドショーの選択及びアニメーション設定方法・検診補助器具等の情報交換 ・PC 機器等の情報交換 東住吉区では iPad の普及促進を行っており、iPad の活用例の情報交換 デジタル機器の情報交換 ・中学生に対する指導講話の実例を紹介しながら問題点の協議 その他



平野区支部研修会 報告書

日 時	平成27年9月5日土曜日 午後3時～5時
場 所	平野区民センター (コミュニティプラザ平野)
報 告 者	吉田 一則
演 題	矯正も予防の時代
講 師	中原 弘美 先生
参 加 者	学校歯科医 (25名)
講 演 内 容	<p>～ 赤ちゃんからの小児歯科で見てきたもの一筋力の不思議 ～</p> <p>かつて小児歯科にはむし歯の洪水と言われた時代がありました。カリエスは先人の先生方の努力によりまた、増加した歯科医のマンパワーによって減少しました。けれども今度は、不正咬合の洪水の時代ともいべき歯列・咬合の不正が蔓延する時代が到来。</p> <p>物事には始まりがあり、病気には病因があります。赤ちゃんから子どもたちの口腔内を診ることにより、不正をおこしてくる様々な要因がわかってきました。現在の子どもたちに現れている新しいタイプの不正咬合、そして1歳6ヶ月健診、3歳児健診、また学校検診で解る不正咬合の予兆について気付いて頂き、多くの臨床医の方々が子どもたちの口腔機能の発達を促し、歯列咬合の不正の予防を目指した指導や治療を行っていただくためのヒントをお話したいと思えます。</p>
感 想 ・ 課 題 ・ 等	<p>不正咬合のもたらす将来の身体的な悪影響。</p> <p>不正をおこしてくる様々な要因。</p> <p>各種口腔疾患の予兆とその対処法。</p> <p>正しい生活習慣の獲得の重要性。</p> <p>などの講演内容により、学校歯科の検診時や個人指導、その他各種検診時の生活習慣の指導 (舌、口唇や普段の姿勢など) の内容の充実につながると考えます。</p>



平成27年度 慶びに輝く先生方



文部科学大臣表彰	西川 肇 先生	城東区	鯉江小学校
大阪市市民表彰	曾我 時雄 先生	天王寺区	大阪ビジネスフロンティア高等校
永年勤続表彰	石見 隆夫 先生	此花区	伝法小学校
	森 裕 継 先生	此花区	梅香中学校
	内橋 賢二 先生	西淀川区	川北小学校
	永目 誠吾 先生	東淀川区	視覚特別支援学校
	富士田 益久 先生	東淀川区	東淡路小学校
	山根 勇 先生	生野区	生野工業高等学校
	江原 一三 先生	東住吉区	育和小学校
	小泉 直俊 先生	東住吉区	田辺小学校
	内野 進 先生	平野区	加美東小学校
	福田 英二 先生	平野区	加美中学校
日本学校歯科医会会長表彰	瀧本 清 先生	此花区	梅香小学校
	片岡 正男 先生	西淀川区	佃中学校

古稀の御祝い

橋本 憲次 先生	都島区	中島 壽子 先生	中央区・南区
安藤 修三 先生	港区	小田 雅裕 先生	港区
橋本 正行 先生	浪速区	藤原 和夫 先生	東淀川区
広瀬 浩三 先生	東淀川区	古川 壽男 先生	生野区
大草 亘 先生	鶴見区	小野 誠治 先生	鶴見区
久島 文和 先生	阿倍野区	中川 博仁 先生	平野区

お知らせ

- 平成27年度（第56回）大阪市学校歯科保健研究大会
平成28年3月3日（木）午後2時～5時 大阪府歯科医師会館 大ホール
第1部の表彰式のあと、第2部の研究協議会では、中京大学スポーツ科学部
湯浅景元教授の「トップアスリートから学ぶ子どもの健康づくり」の講演会が
あります。
- 平成27年度臨時總會
平成28年3月24日（木）午後2時より 本会 第6会議室
- 検診トラブルを防止するためのスクリーニングポスターを配布予定で準備しています。
診療所に提示するなどご活用下さい。
- 学校医療券でもパノラマが平成28年度から請求出来るようになりました。

会務報告

(H27.7.1 ~ H28.1.31)

- 7月2日(木) 第4回 理事会(松下ビル)・広報部会(府歯 第1・第2会議室)
7月2日(木) 歓送迎会(ホテルアウリーナ大阪)
7月9日(木) 広報部会(府歯 第1・第2会議室)
7月11日(土) 管理部会(府歯 第1・第2会議室)
7月16日(木) 鶴見区学校保健協議会 総会並びに学術講演(鶴見区民センター)
7月23日(木) 大阪府学校歯科連合会(府歯 第3会議室)
7月23日(木) 近畿学校保健協議会(ホテルアウリーナ大阪)
7月30日(木) 歯・口の健康教室反省会および低学年歯みがき指導の打合せ会(府歯 第6会議室)
8月1日(土) 移動理事会(花外楼)
8月29日(土) 第39回 近畿北陸地区学校歯科医連絡協議会(ANAクラウンプラザホテル富山)
8月30日(日) 学校歯科医生涯研修制度 専門研修「保健教育」(日歯会館)
9月9日(水) 幼稚園養護教諭研修会(幼稚園研修センター)
9月10日(木) 第6回 理事会(松下ビル)
9月12日(土) 学術部会(松下ビル)
9月16日(水) 日本学校歯科医会 臨時総会(日歯会館)
9月17日(木) 歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語コンクール審査会(大阪市役所)
10月8日(木) 第7回 理事会(府歯 第6会議室)
10月17日(土) 子どもの歯を守る懇談会(舍利寺小学校)
10月17日(土) 第2回 支部長会(府歯 第6会議室)
10月17日(土) 指導者講習会(府歯 第6会議室)
10月24日(土) 管理部会(市学歯 分室)
10月29日(木) ~ 30日(金)
第79回 全国学校歯科保健研究大会(長野市)
11月6日(金) ~ 18日(水)
歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語 展示(中央図書館)
11月12日(木) 第8回 理事会(ホテルアウリーナ大阪)
11月12日(木) 学校歯科保健連絡協議会(ホテルアウリーナ大阪)
11月14日(土) 大阪二学歯連絡協議会(東天紅)
11月15日(日) 学校歯科医生涯研修制度専門研修 保健管理(日歯会館)
11月19日(木) よい歯の学校表彰審査会(松下ビル)
11月19日(木) 専門研修座談会(市学歯 分室)
11月26日(木) 子どもの歯を守る懇談会(中央高等学校)
11月28日(土) 管理部会(市学歯 分室)
12月3日(木) ~ 4日(金)
平成27年度 全国学校保健・安全研究大会(愛媛県 松山市)
12月3日(木) 第65回 全国学校歯科医協議会(愛媛県 松山市)
12月5日(土) 会員研修会(大阪歯科大学附属病院)
12月12日(土) 広報部会(市学歯 分室)
12月17日(木) 第9回 理事会(KKRホテル大阪)
12月17日(木) 子どもの歯を守る懇談会(我孫子中学校)
12月18日(金) 子どもの歯を守る懇談会(田川幼稚園)
12月26日(土) 広報部会(市学歯 分室)
1月14日(木) 広報部会(市学歯 分室)
1月21日(木) 第10回 理事会・平成28年 新年互礼会並びに受賞祝賀会(ホテル日航大阪)
1月26日(火) 子どもの歯を守る懇談会(大正東中学校)

学校歯科保健教材器具貸出 申込書

校 園 名 _____

学校歯科医名 _____

1. 貸出器具に○と個数をご記入ください。

貸出の有無	器 材 名	商 品 名	個 数
	位相差顕微鏡	ペリオスコープ	貸出は1台のみ
	咬合力計	オクルーザルフォースメーター	貸出は1台のみ
		ディスポーザブルキャップ	個
	お口の万歩計	かみかみセンサー	Sサイズ 台
			Mサイズ 台
	顎 模 型	歯みがきじょーずくん	貸出は1台のみ
		歯みがき指導用模型	貸出は1台のみ
	歯みがき圧測定器	歯みがき圧指導器	貸出は1台のみ
	糖 度 計	ATAGO ペン糖度濃計 PEN-J PEN-1ST	貸出は2台まで
	p H 計	ATAGO DIGITAL pH METER	貸出は1台のみ
	ガ ム	キシリトール入り咀嚼力判定ガム	ひとつのみ (50個入り)
	口唇閉鎖力測定器	りっぶるくん	貸出は1台のみ

2. 貸出希望日 ※貸出期間は1週間をお願い致します。

貸出希望 平成 年 月 日～平成 年 月 日 (返却)

3. 貸出・返却方法

- ・教材器具を貸出希望される学校は、事前に電話にて事務局に貸出状況をお問合せください。そして、この用紙にご記入の上、市学歯へFAXにてお申し込みください。
FAX：6774-0488
- ・貸出は市学歯事務局まで取りに来ていただくか、または、市学歯から貸出日までに宅配いたします。(その際は着払いをお願いします。)
- ・返却は事務局へお持ちいただくか、宅配でも結構です。

4. 注意事項

- ・位相差顕微鏡は備品の中の『取扱説明書』や操作方法を録画したCDファイルを参考にしてください。また、サンプル画像の入ったCDファイルも同封していますので、口腔内細菌の説明にお役立てください。
- ・咬合力計のディスポーザブルキャップは、測定する児童・生徒の人数分の個数を記入してください。
- ・かみかみセンサーは小学校低学年用のSサイズ、小学校高学年以上のMサイズとも5台まで貸出できます。
- ・それぞれの器材の付属品や備品は紛失しないように返却をお願い致します。

5. 教材器具貸出器材について

市学歯ホームページの会員専用ページをご覧ください。

6. 担当者連絡先

〒543-0033 大阪市天王寺区堂ヶ芝1-3-27 大阪府歯科医師会館内
大阪市学校歯科医会 事務局 伊牟田 裕加 ☎6772-8362

市学歯ホームページ更新情報

- 12月25日 会員研修会を更新しました。
12月5日に開催されました「ためしてガッテン」の元ディレクター北折一氏の講演を紹介しています。
- 12月25日 全国学校保健・安全研究大会を更新しました。
12月3日・4日に松山市で開催されました全国学校保健安全研究大会と全国学校歯科医協議会の様子を紹介しています。
- 11月26日 図画ポスター入賞作品を更新しました。
11月6日から11月19日まで大阪市立中央図書館に展示した図画ポスター入賞作品を紹介しています。
- 11月25日 大阪二学歯連絡協議会を更新しました。
11月14日に開催されました府学歯との情報交換と懇親会の二学歯連絡協議会の様子を紹介しています。
- 11月25日 学校歯科保健連絡協議会を更新しました。
11月12日に開催されました大阪市の学校歯科保健関係者が一同に集まる情報交換会の学校歯科保健連絡協議会を紹介しています。
- 11月24日 全国学校歯科保健研究大会を更新しました。
10月29日・30日に長野市で開催されました全国学校歯科保健研究大会の様子を紹介しています。
- 10月27日 歯の知識箱（4 歯科知識一般 Q3 スポーツドリンクに関して）
スポーツドリンクの成分内容の間違いを修正しました。
- 10月27日 会員研修会を更新しました。（指導者講習会）
10月17日の支部長会後に「スポーツ歯科」をテーマに開催されました。指導者講習会を紹介しています。

編集後記

音楽、文楽、文化を「一刀両断」の如くバッサリ切り、関係者を右往左往させた大阪市長が退任した。「やり尽くした」「これ以上は無理だ」というのが最後の弁であった。政界からの引退をほのめかしたものの、周囲では国会へのくら替えも囁かれている。大阪市長在任中の8年間、補助金カット、赤バス廃止、実質値上げの地下鉄、敬老パスの廃止、功よりも罪しか見えてこない。一時は我々大阪市民、市学歯にとっても「大阪市の解体」という悲観的な予測を思いめぐらしたことさえあった。すべては住民投票のあの日で終わったはずだ。先のダブル選の結果は市学歯にとっても期待外れだった。後任の市長は40歳の若輩である。大阪市のことをどこまで分かっているのだろうか疑問である。着任早々、3年以内にもう一度「都構想」の是非を問う住民投票を実施すると豪語している。9億円を

も費やした意味が理解できていない。新市長はかつては大阪市北区選出の市議員で2期目の任期半ばで辞任し、比例代表で衆議院議員になったものの、これまた2年も経過しない任期途中で大阪市長選出馬。「国政での経験を大阪市政に活かしたい」と述べているが、熱意もやる気も伝わってこない。いずれまた近いうちに大阪市を見捨てる可能性は十分考えられる。まさに「串カツ屋」2度づけお断り、「都構想」2度だしお断りだ。

第170号 平成28年1月28日 発行
発行所

〒543-0033

大阪市天王寺区堂ヶ芝町1-3-27
大阪府歯科医師会館内

大阪市学校歯科医会
広報部

電話 大阪 (6772) 8362

人生を味わうために、
お口の元気をいつまでも。



今日という日を大切に、一日一日をていねいに生きる。
そんな人々のためにライオンに何ができるか。
めぐり来る日々の、人の清潔や、健康や、快適や、
環境を守りつづけるために、何を提供できるか。
人のからだやくらしが求める、
希望に満ちた未来を、日本ばかりでなく
世界にも届けたいと願う、私たちライオンです。

今日を愛する。
LION